

# 「寛骨臼移動術（SPO）後1年の機能回復に影響する術前因子の検討」について

加古川中央市民病院リハビリテーション部では、現在、臼蓋形成不全に対して寛骨臼移動術（SPO）が施行された患者さんを対象に表題の研究を実施しております。その詳細は下記の通りです。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【はじめに】

当院では臼蓋形成不全に対して関節温存術である寛骨臼移動術（spherical periacetabular osteotomy：SPO）が施行されています。術後の機能回復に影響する因子の検討は、寛骨臼回転骨切り術（rotational acetabular osteotomy:RAO）では散見されますが、SPOではされていません。SPO術後の機能回復に影響する因子が明かにされていないので、当院では、現在、SPO術後の患者さんに対して同様のパスでリハビリテーションを介入しています。

## 【研究概要及び利用目的】

本研究ではSPO術後の機能回復に影響する術前因子を明かにします。その因子が明かになれば、個々の患者さんに応じたレジスタンストレーニング<sup>※</sup>の負荷量設定やトレーニング内容を立案することにつながります。

※筋肉に負荷や抵抗をかける動作を繰り返し行う運動のこと

## 【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦2026年10月23日

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

手術時の身長、体重、年齢、性別、CE角、10m歩行テスト、術前股関節外転筋力及び術後1年時股関節外転筋力

※SPO術は他の関節温存術と比較すると外転筋の侵襲がなく、術後の筋力回復の面で利点があると考えられているため、本研究では術後の股関節外転筋の筋力回復を機能回復の基準とします。

※：股関節外転筋力：Hand-held dynamometer（HDD）を用い、背臥位（測定股関節は伸展0°、外転0°）で大腿遠位部に牽引紐を掛けて計測します。

※10m歩行テスト：スタートラインから10m先のゴールラインまで歩行してもらい所要時間を測定します。

※CE角：大腿骨頭の中心を通る垂線と、骨頭中心から臼蓋外縁を結ぶ線がなす角度。正常は25～30°とされ、20°以下が臼蓋形成不全の基準となります。

## 【個人情報保護の方法】

この研究ではプライバシー保護に配慮し、患者さんの情報は直ちに識別することができないように研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の

鍵のかかる保管庫で管理します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

#### **[試料・情報等の保存・管理責任者]**

加古川中央市民病院 リハビリテーション部 責任者氏名：小西 佑磨

#### **[データ提供による利益・不利益]**

本研究では既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者には下記の利益、不利益が考えられます。

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。本研究への参加を通じて、同じあるいは類似の疾患の皆さんの治療後の経過予測や機能予後の向上に役立つ可能性があります。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

#### **[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]**

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

#### **[研究成果の公表について]**

研究成果は学術目的のための論文や学会などで公表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

#### **[研究への参加取り止め]**

いつでも可能です。研究参加取り止めの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、取り止めの申し出をされた時点で、すでに研究成果が論文や学会などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。なお、研究参加の同意の辞退および撤回による不利益はありません。

#### **[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション部

小西 佑磨

連絡先：079-451-5500